



令和8年度アソカ学園 園だより7月号



7月の予定

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7 七夕集会 笹持ち帰り日	8 プール開き ※天候により 変更します。	9	10	11
12	13 アソカ諸費用 7月分引落し	14 年長 遠足	15	16 避難訓練	17	18
19	20 海の日	21	22 お誕生日集会	23	24	25
26	27	28	29 プール写真撮影① (キューズプラス撮影)	30 プール写真撮影② (キューズプラス撮影)	31	

8月の予定

8月8日(土)～8月14日(金)お盆休み

8月12日(水)アソカ諸費用8月分引落し

8月21日(金)22日(土)年長お泊り保育

『言葉が自己を変え、そして世界を変える。』

屈託なくあそびに熱中するこども達。この姿のなかに「能力とは自らの興味・関心がおもむくまま、自由に体を動かす時にのみ、生まれ・育ち・洗練される」と・・・正しく、この言葉どおり、無理やり、嫌々やっても、何の能力の獲得にも繋がりません。こども達の興味・関心をどう作り出し、それをどう、自発的活動に繋げていくかが、私たちの仕事だと思っています。

「幸せではなく、満足を求める。」

誰でも、幸せを求めるといふ。

けれども、求めるべきは幸せではなく、満足である。

どんな幸せにも羽根が生えているが、満足は大きな亀のように重く、決して飛び去ることがない。幸せは、日本語で仕合わせと書く。英語では HAPPY ドイツ語では GLUCK と書く。これらの言葉はみな「偶然」という言葉から生まれている。すなわち、幸せは偶然に得られるものだと古代から知られていたわけだ。だから宝くじに高額当選するのも幸せの一つである。そんな偶然を願って生きるならば、がっかりすることが多くなる。

何故ならば偶然はたまにしか起きないし、自分の行いとはあまり関係がないからだ。しかし、自分がまじめに力を尽くすならば、仕事においても生活においても必ず満足が得られる。満足は自分の行いによって、その必然的結果として得ることができる。

つまり、幸せは偶然にしか得られないし、その偶然がいつ来るかもわからないが、満足はすぐに得ることができるわけだ。満足した一日、不満のない日々、満身に充ちた人生。これこそ、確かな幸せと呼ぶべきではないだろうか。

「心配は悪と心得よ」

あなたは、心配していると言う。けれども、あなたの心配の中身は妄想である。妄想はあなたの心身を傷つけ、妄想を口に出せばあなたは相手から軽蔑されるだろう。悪いことをあれこれ想像して、いったい何になるのだろうか。心配は相手を助けることではないのだ。しかし、心配する人は自分が心配しているというそのことだけで、相手の為になんかとても必要な世話を焼いているというふうに思いこんでいるのである。心配がまるで実際の心配りであるかのように大きな勘違いをしている。しかし実際は自分の妄想と遊んでいるだけの人間である。また、心配癖のある人は、人を信用していない人である。何故なら、あの人はきつとうまくやれないと決めつけて、起こりえる悪いことをいろいろ想像しているだけだからだ。本当に人に信頼を置いている人は、安心して待っているだけである。心配性の人は悪が好きである。心配の中身である妄想のほとんどは悪い事柄、不吉なことだらけだ。そういった悪いことが実際に発生すると心配する人はやっぱり心配した通りだったと、小さな喜びを覚えているのである。（アソカ春の研修資料 哲学者 白取晴彦の言葉より）

「ことば」は人を生かしても殺しも、そして希望も夢をも与えます。そんな言葉の重みを感じながら、こども達と、この瞬間を生きたいと思っています。（麻生）